研究実施のお知らせ

2019 年 11 月 12 日 ver.1.1

研究課題名

Rapid response system 導入が及ぼす、重症病棟予定外入室患者の重症度・予後への影響についての検討

研究の対象となる方

2018 年 4 月から 2018 年 10 月の間もしくは 2019 年 4 月から 2019 年 10 月に島根大学医学部附属病院入院中に、ICU・HCU へ緊急入室された方で、16 歳以上の方

研究の目的・意義

当院では 2019 年 4 月から Rapid response system （院内急変防止のための早期介入システム：以下「RRS」）を導入しました。それまで院内急変患者の多くは ICU・HCU へ入室しますが、その重症度は高く、死亡率・入院期間は長期となることが多い状況でした。RRS 導入により ICU・HCU への入室患者の重症度や予後が変化したかどうかを検討します。そこで、本研究で RRS 導入による ICU・HCU への予定外入室患者の重症度や予後の変化が明らかとなれば、現行のシステムを続けていくべきなのか、改善しなければならない点があるのかという判断の根拠になります。

研究の方法

カルテから年齢、性別、28 日後の転帰、6 か月後の転帰、血液検査、血圧、脈拍数、呼吸数、体温などのデータを収集し、RRS 導入前後で比較します。

研究の期間

研究許可後～2023 年 12 月

研究組織

この研究は島根大学医学部麻酔科学教室が行います。／この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部麻酔科学教室/島根大学医学部附属病院麻酔科　　八幡俊介

参加研究機関

島根大学医学部麻酔科学教室　　齊藤洋司
島根大学医学部附属病院集中治療部　　二階哲朗

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020 年 8 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部麻酔科学教室／附属病院麻酔科　八幡俊介
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2295　　FAX　0853-20-2292